

ワクワクながわ新聞 第110号

ちょっといい話

こんな言葉があります。「同じことを繰り返しながら、違う結果を求めるのは、狂気の沙汰だ」成長するためには何かを変えないといけない。日本人は従順であるように教育されている。だから、全てをひっくり返す必要があったんです。(前ラグビー日本代表ヘッドコーチ、エディー・ジョーンズさん)
勝負の世界ですから勝たなければならぬ。でも負けても、どの手が悪かったか、その手を指すときにどんな気持ちだったかを反省し、精進すればマイナスにならない。負けから何を学び成長するかが大事です。(将棋棋士・谷川浩司さん)

ロタウイルスワクチン 助成開始!

乳幼児がロタウイルスに感染すると、急性胃腸炎となり、強い嘔吐・下痢の症状が出ます。感染力が強いため5歳までにほぼ100%の子どもが少なくとも1回は感染すると言われます。また、脱水の重症になりやすいのも特徴です。現在、治療法がないため、ワクチンによる予防法しかありませんが、1回10,000円～15,000円で2回程度の接種が必要なため、高額となっています。品川区の助成は、以下の通りです。

- 対象：1歳未満
- ワクチン：ロタリックス、ロタテック
- 助成額：1回7,000円
- 通知：定期予防接種予診票に案内文を同封



防犯カメラ 電気料金にも助成!

町会や商店街では、防犯カメラを設置しているところがあります。現在では、費用の6分の1だけの負担で設置できるようになっています。一方、電気代などの維持費は電気料金の値上げなどで、負担が重くなっています。28年度からは、防犯カメラ1台につき4,000円を助成します。



旧大崎シルバーセンターリニューアル 多世代が交流できる施設へ！

旧大崎シルバーセンターが、5月リニューアルオープン!これまででは、シルバーセンターの名の通り、主に高齢者が利用する施設と位置づけていましたが、リニューアルに合わせて子育て世代等も利用し、交流もできるよう「大崎ゆうゆうプラザ」とネーミングも一新、新たな役割を担います。

若い世代向けのプログラムは、次のようなものが考えられています。

1. 子育て応援



- ・プレママ（妊娠7カ月以降）、産後ママ（生後1～3カ月）のボディケア
- ・離乳食レッスン、幼児食親子クッキング
- ・子育て交流サロン
- ・ママのリフレッシュ講座（ヨガやアロマ）
- ・アレルギー情報交換・講演会

2. 子ども・若者応援



- ・不登校や引きこもり対策として、応援団体によるフリースペース等サービス提供し、居場所づくりや保護者も含めた相談対応を行います。

発行日：
平成28年4月1日（金）
発行者：
若林ひろき 品川区議会議員
ブログ：
<http://ameblo.jp/wakabayashi-hiroki/>



品川区では、ウォーキングマップを発行しています。四季を意識したおすすめコースの紹介や「距離」「歩く時間」「消費カロリー」など健康づくりに役立つ情報も掲載。1冊百円（税込み）で区役所健康課・地域センターで販売中。スマホ用アプリには、AED・トイレ・銭湯情報も載っています。

しながわ散歩を楽しむ！

1クラスの人数が少ない方が先生もきめ細かな指導ができる、子どもも発言機会が増えるなど、より積極的に授業を受けられるようになつて良いということでしょう。

それは、みんながわかっていることなのです。なかなか実現しません。お金かかるからです。「30人学級」になると、先生の人数や学校の設備や備品を増やすのに、新たに兆の単位のお金がかかると言われています。国にお金がなく、公務員の人数も減らしていくことは、国にかかる財政再建の流れの中では実現が難しいというのが現状です。

ただ、国全体ではできな

いとしても、県単位、市区町村単位なら少人数学級を実現することができます。全国学力テスト1位の常連、秋田県は、2001年度から少人数学級を導入し始め、2011年度には小学1～4年生と中学1・2年生で30人学級を実現しています。山形県は、2002年度から少人数学級を導入し始め、2013年度には小学1～4年生と中学校1・2年生で21～33人学級を実現しています。（つづく）

日本の教育がよくわかる本
（池上彰著／PHP文庫）その8